

隊員情報：小貫 えみり (農村振興局 防災課)、坂本 祐麻 (国土政策局 地域振興課)

蘭越町の魅力ポイント ■面積 449.78km² ■人口 約4,400人 ■指定地域 過疎、振興山村、特豪

- ニセコに隣接する地域として尻別川をはじめとする川、山、海すべてがそろった自然豊かな町
- 町内で生産している「らんこし米」は、全国各地のお米グランプリで入賞実績があり、美味。また、蘭越町では毎年、全国米-1グランプリを開催しており、米の町としてのブランド化に力を入れている！
- 米だけでなく野菜、ワイン用ブドウ、薬草などの農産物やその加工品が作られており、すべてがおいしい！令和7年には、町内で「らんこし米」を原料にスパークリング日本酒の醸造も開始。
- 町内には7つの温泉郷があり、それぞれ良質で異なった泉質が堪能できる！



米をおかずにご飯が進む！らんこし米



新たな特産品！リモネソの加工品



温泉が湧く！大湯沼



らんこし米のスパークリング日本酒

蘭越町の課題

■ 政策分野 農作物のブランド化、観光振興、新規就農

- 町名及び「らんこし米」について、全国的な知名度が低いため、PRの検討が必要
- 町の観光マップが更新されていないため、観光客は最新の情報の把握が困難
- 町が民間企業と連携した薬草事業において開発した商品の販路拡大やブランディング、老朽化した米関連施設の更新が必要
- 町として農業振興を推進しているため、新規就農者の確保が必要

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 4月：webで役場と打ち合わせを行い、町の課題・方向性を確認
- 6月：現地調査を実施し、薬草事業に携わる民間企業の試験ほ場、土産物用加工センターの視察及び役場職員や地域おこし協力隊OBらと意見交換するとともに、問題の深掘りを実施
- 10月：「らんこし米」を農家自ら販売するイベント「らんこし新米まつり」の視察及び関係農家との意見交換。1泊2日の町内観光モデルコースを意識した現地視察を実施

取組みの成果

- 町の新たな取組みである薬草事業の推進に有効な支援制度を探し出し、町に情報を提供
- リモチーソ（新種のシソ）を活用した新商品の風味やキャッチフレーズについて意見提案
- 現地調査を踏まえた観光資源の整理、外部からの視点を盛り込んだ、観光客を呼び込むための入口となる新たな町内観光マップの案（「蘭越町1泊2日モデルコース」及び「推しお土産リスト」の追加）を提案。

今後の方針

- 地域のブランド化について、販売促進やマーケティング等に係る課題を深掘りし、方向性及び対応案を検討・提案